葡萄の雨よけ棚セット　部材表 【2102】

製品寸法（パイプ中心値）　間口1.2m　奥行5.0m　高さ2.2m　（約寸）

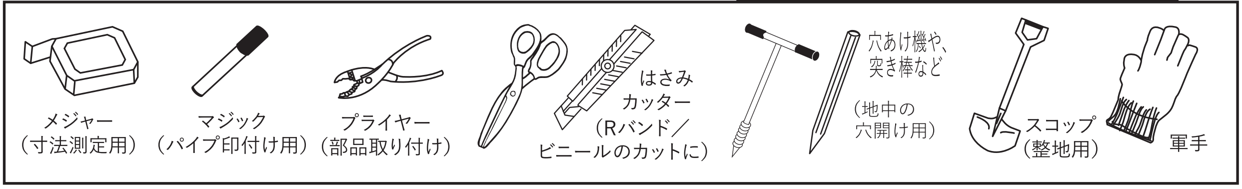
Aケース

No.	品名	数量	規格	形状
①	アーチ用パイプ	6	19×106cm S	
②	アーチ用パイプ	6	19×100cm	
③	中柱用パイプ	5	19×71cm	
④	中渡し用パイプ	6	19×88cm	
⑤	新型Tバンド	13	19×19	蝶ナット
⑥	フックバンド	21	19×19	
⑦	ダブルユニバーサル	12	19×19	19の刻印　19の刻印
⑧	パッカー	22	19用	
⑨	Rバンド	1	30m	
⑩	ビニール	1	0.075 2.3m×6.2m	

Bケース

No.	品名	数量	規格	形状
⑪	脚用パイプ	17	19×180cm SP	
⑫	横通し用パイプ	4	19×150cm	
⑬	横通し用パイプ	8	19×180cm S	

準備していただく工具



パイプ骨組　横画像

完成　画像

※張替ビニール等も、お取り寄せ可能です。
本商品をお買い求めいただきました販売店様に
お問合せ、ご注文ください。

NAN-A CORPORATION
製造発売元 南榮工業株式会社
〒885-0004 宮崎県都城市都北町5025
TEL 0986-38-0111

安全上のご注意

保存版 平成30年8月改訂版

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。
ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

⚠警告

この項目の内容は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。
※1「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

🛇禁止 固定を行わない設置

弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必ず必要となっております。
固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置してください。
置いただけの設置は絶対に行わないでください。
また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まってる場合、アンカーを打つ場所に、先に下穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置をしてください。

🛇禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置

これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。
このような場所には絶対に設置しないでください。

🛇禁止 風が強い場所への設置

強風(ビル風・川風・海風・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置してください。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置してください。

🛇禁止 積雪・落雪がある場所への設置

豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設置すると、落下した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

🛇禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置

傾斜のない平坦な場所に設置してください。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

🛇禁止 火の影響を受ける場所への設置

焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないでください。

🛇禁止 幹線道路・線路の付近への設置

強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

🛇禁止 変電所・高圧電線付近への設置

強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

🛇禁止 その他危険な場所への設置禁止

上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないでください。

🛇禁止 悪天候時の設置・補修作業

悪天候時の組立・補修作業を行わないでください。災害の原因となるおそれがあります。

🛇禁止 素手での設置・補修作業

組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をしてください。

🛇禁止 シートを張る作業について

弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張ってください。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

🛇禁止 目的外の使用禁止

弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用ください。他の用途には絶対に使用しないでください。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないでください。

🛇禁止 火気禁止

弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないでください。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換気を十分に行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意ください。

🛇禁止 危険物の貯蓄禁止

危険物(可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないでください。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめください。

🛇禁止 換気に注意

内部でエンジンのアイドリングを行わないでください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないでください。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行ってください。

⚠注意

この項目は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や、物的傷害※3の発生が想定される内容」を示しています。
※2「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要さないけが・やけど(高温・低温)・感電等を指します。
※3「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

🛇注意 パイプに物を掛けない。

構造材のパイプに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないでください。

🛇注意 操作に関するご注意

開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めてください。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

🛇注意 強風の場合

強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等は外し、まとめてロープ等で骨組みに止めてください。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。台風等で災害が予想される時は、パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、シート・ビニール・ネット等を外し、畳んで収納してください。

🛇注意 雪が降っている場合

雪が積もった場合は、随時雪降ろし作業を行ってください。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないでください。内部に入る前に、必ず雪降ろしを行ってください。

🛇注意 仕様変更

商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

■メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要性があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行ってください。

🛇注意 アンカー・固定ひもの点検

弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認してください。アンカーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行ってください。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

🛇注意 シート・ビニール・ネットの点検

弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認してください。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きく広がったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

🛇注意 降雨後のお手入れ

雨が降った後などシートに水がたまった場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直してください。水がたまったままにすると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。

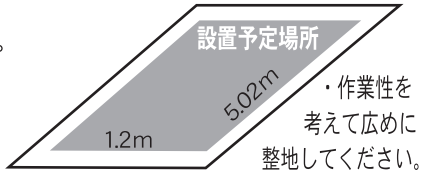
🛇注意 交換用部材の発注について

交換用シート等のご注文は、それぞれの型番でご注文ください。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管してください。

NAN-A CORPORATION 南榮工業株式会社

葡萄の雨よけ棚セット 組立説明書 保存【2102】

この度は、弊社商品をお買い上げいただき、有難うございます。
組立作業に取りかかる前に、部材表と組立説明書を一読いただき
理解度をお深めください。
部材表の裏面にあります『安全上のご注意』も、お読みください。

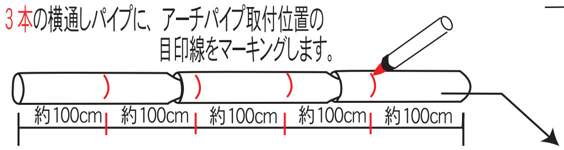


・作業性を考えて広めに整地してください。

❶ 横通しパイプと脚用パイプを準備します。

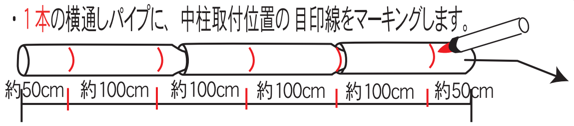
・4本の横通しパイプを、組み上げます。（⑬＋⑬＋⑫）X4セット

・3本の横通しパイプに、アーチパイプ取付位置の目印線をマーキングします。

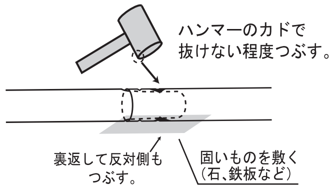


『骨組天井部、左右の横通しパイプになります。』

・1本の横通しパイプに、中柱取付位置の目印線をマーキングします。



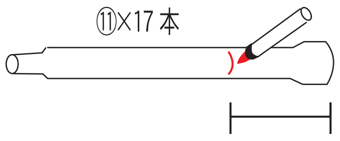
『骨組中央部横通しパイプ』になります。



⚠ 全ての繋ぎ目を抜けない様につぶしてください

・⑪脚用パイプに、埋め込み用印をマーキングします。

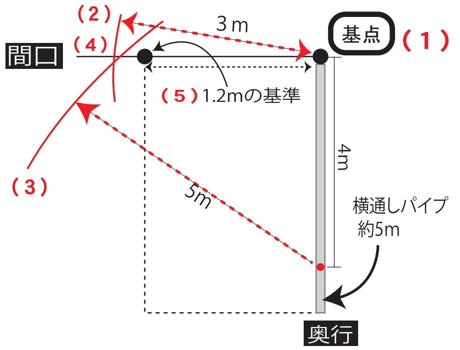
⑪X17本



❷ 脚用パイプを埋め込む準備をします。

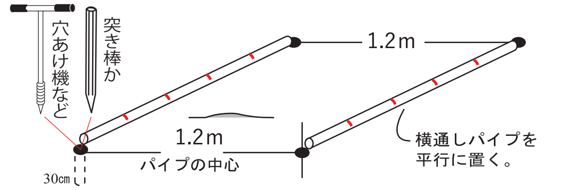
・基点を決め、直角を出します。

（1） 基点を決めます。
（2） 基点より、間口方向に3ｍの円軌道の線を取ります。
（3） ❶で作製した横通しパイプを、奥行き方向に設置します。
基点より、4ｍのところに印をとります。
4ｍの印より、間口方向に5ｍの円軌道の線を取ります。
（4） （2）（3）の線の接点が、基点よりの直角点になります。
（5） 直角点に向かい、1.2ｍを図り基準をつくります。

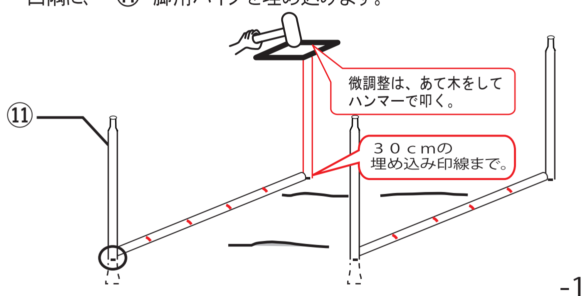


❸ 脚用パイプを建てます。

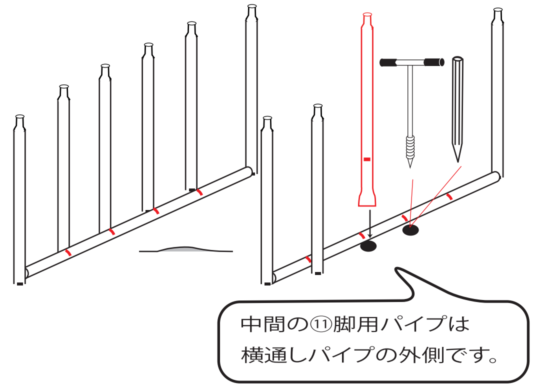
・基点と基準をもとに、横通しパイプを、平行間隔（1.2m間隔）に置き、四隅に、深さ約30cmの穴を掘ります。



・四隅に、⑪ 脚用パイプを埋め込みます。



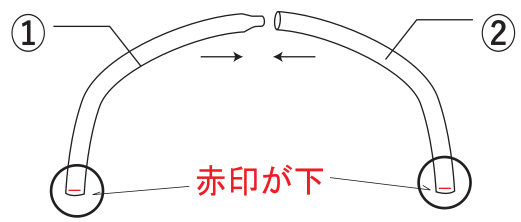
・中間に、⑪脚用パイプを埋め込みます。



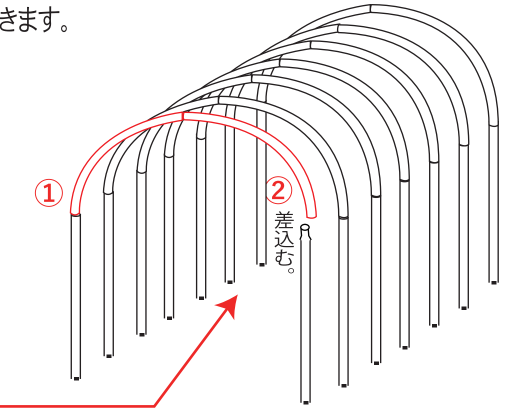
※⑪脚用パイプを、埋め込んだ後は
横通しパイプを取り除いてください。

❹ アーチパイプを組み立てます。

・①②アーチ用パイプを、脚パイプに差し込み、天井部を組み立てていきます。



強度を持たせる為に、パイプにハリがあります。
内側に引き寄せて、脚パイプに差し込んでください。

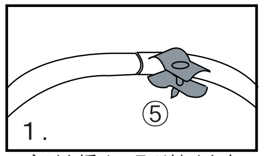


❺ 横通しパイプを取り付けます。 ＊横通しパイプは、骨組内側に取り付けます。＊

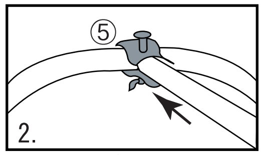
・1m間隔で印をした横通しパイプ3本を、各金具で取付けます。

天井の横通し ＊端部＊

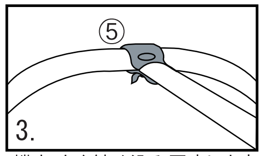
・アーチパイプの繋ぎ目の上に、⑤Tバンドで、取り付けていきます。



ネジを緩め、取り付けます

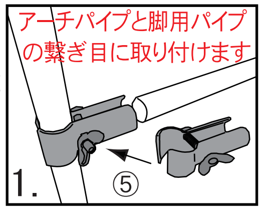


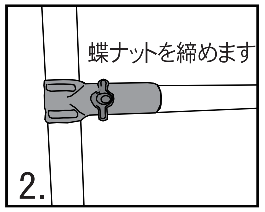
横通しパイプを組み込みます



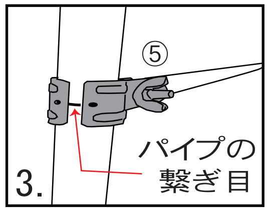
蝶ナットを締め込み固定します

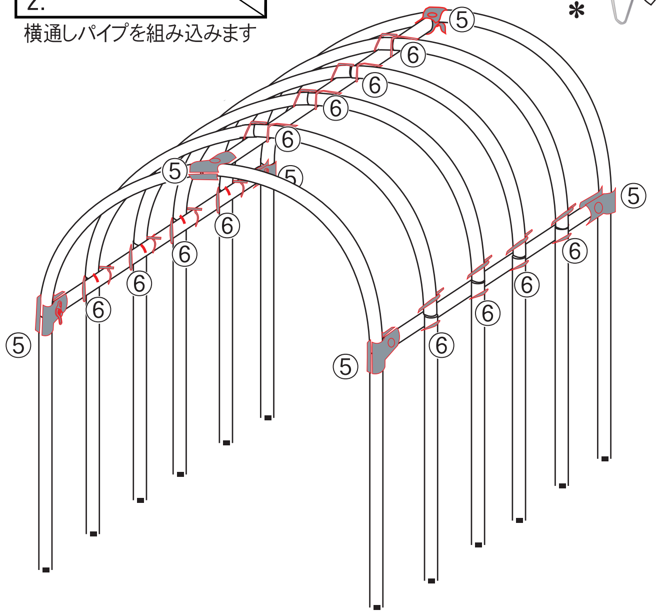
左右の横通し ＊端部＊ （ハウスの内側から取り付けます）





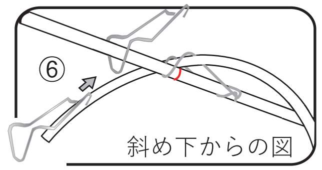
（骨組内側からの図）



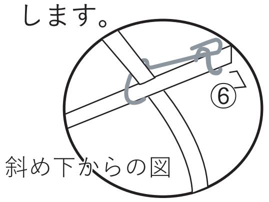


天井の横通し ＊中央部＊

・目印線とアーチパイプを合わせます。



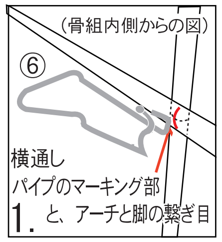
横通しパイプ下から⑥を差込み、アーチパイプをまたぎ、⑥先端部引掛けを横通しパイプに固定します。

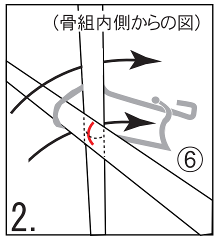


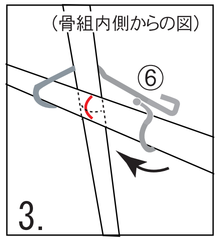
天井中央部 4ヶ所

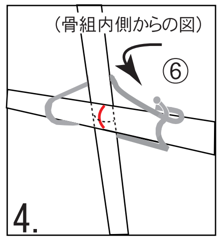
左右の横通し ＊中央部＊

左右中央部 4ヶ所





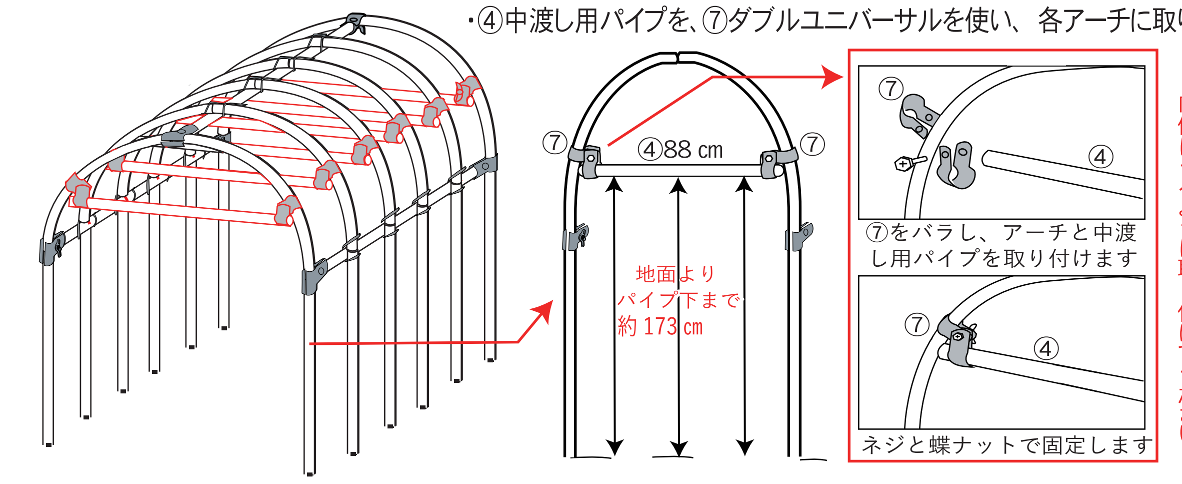




取付け位置は、100cm間隔の目印線と、脚パイプ＋アーチパイプの繋ぎ目になります。

❻ 中渡しパイプを取り付けます。

・④中渡し用パイプを、⑦ダブルユニバーサルを使い、各アーチに取り付けます。

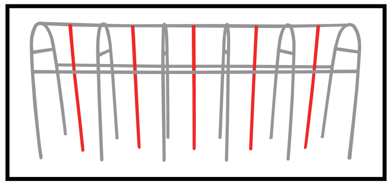


※6アーチに取り付けます。

※両端アーチの取付時に、⑦の蝶ナットは内側にくるように取り付けてください。

❼ 中柱を建てます。

※図解は、他部分の部材を省略しています

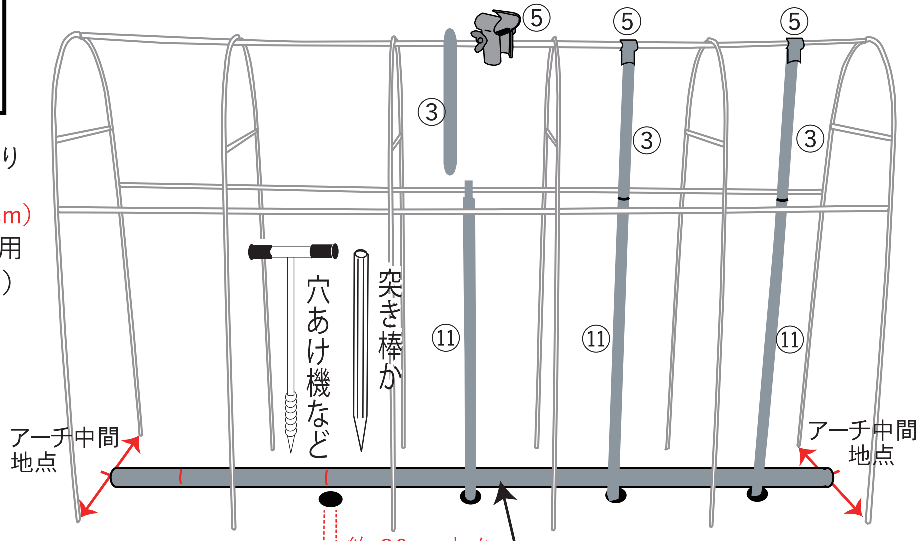


・中央部に、⑪脚用パイプを地中に埋め込み、④中柱用パイプを継ぎ、⑤T バンドで天井部横通しパイプに取り付けます。

1．アーチとアーチの中間を計り骨組中央部横通しパイプを（50cm100 cm 100 cm 100 cm 50cm）置き、印に沿って埋め込み用穴を開けます。（深さ 30 cm）

2．⑪脚用パイプを差込み、③中柱用パイプを継ぎます。

3．⑤T バンドで、天井部の横通しパイプに、③を取り付けます。

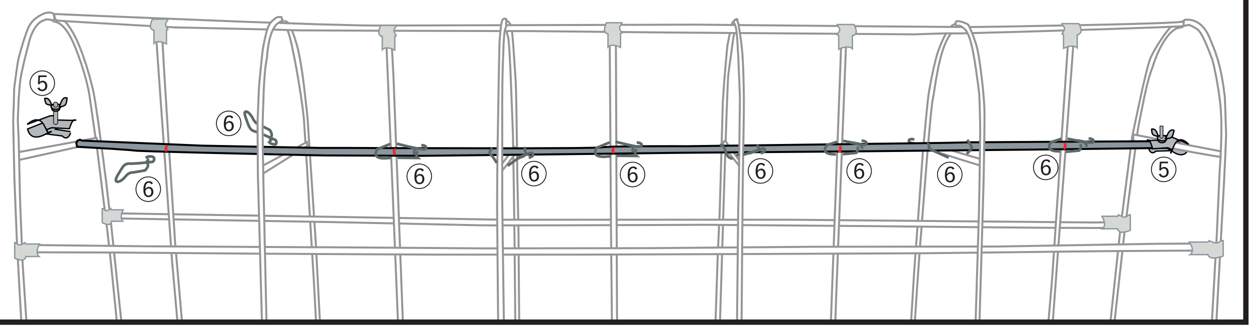


③が、天井横通しに、当たるときは、⑪を少し、叩き込んでください。
③が、天井横通しに、届かない場合は、⑪の埋め込みを浅くしてください

❽ 骨組中央部横通しパイプを取り付けます。

※図解は、他部分の部材を省略しています

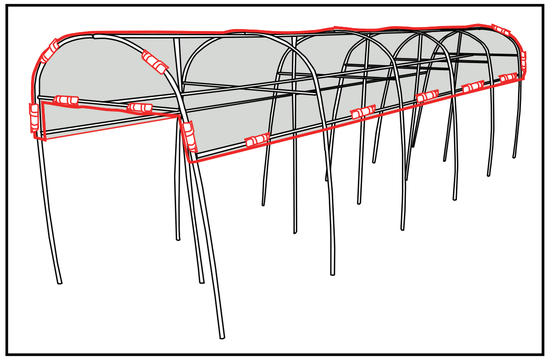
1．骨組中央部横通しパイプを、中渡しパイプの上に乗せます。
2．骨組中央部横通しパイプの印部と中柱を合わせます。
3．両端部の中渡しパイプと⑤T バンドで取り付けます。
4．骨組中央部横通しパイプと、中渡しパイプの接点、中柱パイプの接点を⑥で固定します。

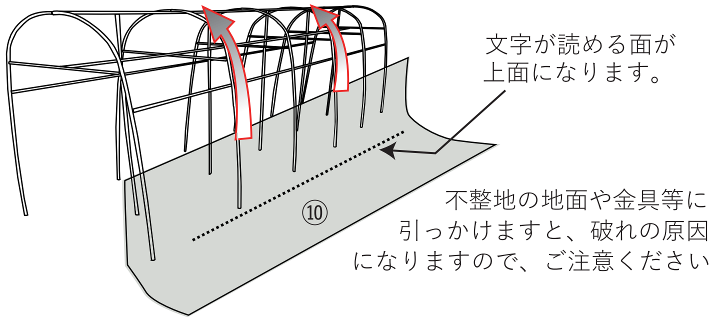


❾ ビニールを張ります。

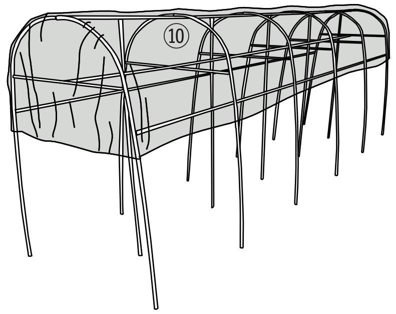
※図解は、金具部材を省略しています

1．⑩ビニールを広げ、骨組に被せていきます。

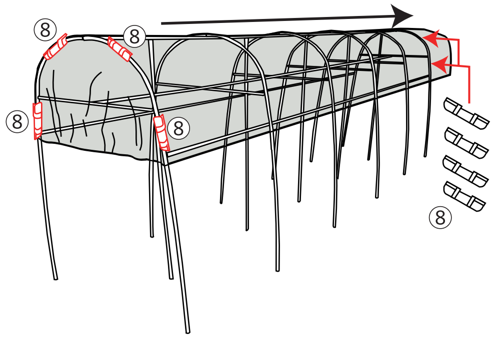


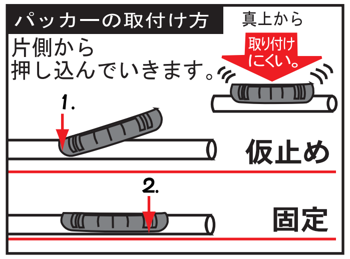


2．被せたビニールを、前後左右、均等に調整します。

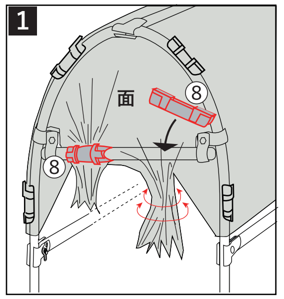


3．片面端部を⑧パッカーで固定した後、ビニールを全体的に、反対方向に引っ張り、ビニールに張りを持たせ、逆端部を片面同様に⑧パッカーで固定します。

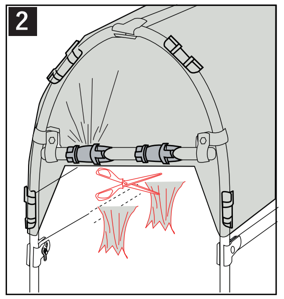




4．端部の調整。

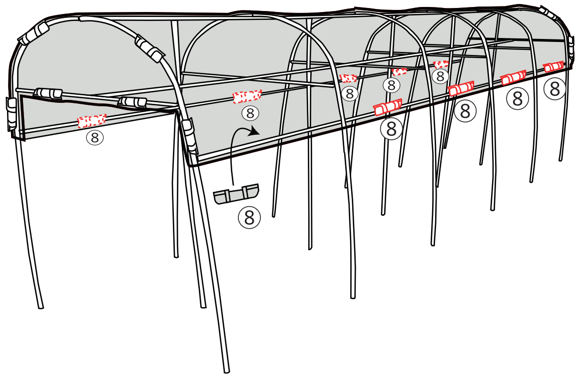


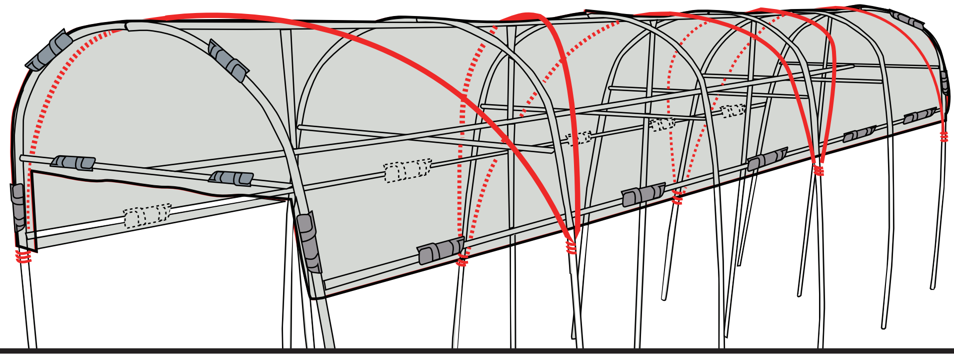
ビニールを絞り込み、面に張りを持たせた後、⑧で固定します。



絞り込んで出来た束は邪魔な場合はカットしてください。

5．左右を⑧で固定してください。



❿ ビニールを押さえて、補強します。

・⑨R バンドで、ビニール全体を押さえるように、左右交互にバンドかけをしてください。